



長野県  
改革・新風  
会派だより

長野県議会  
**改革・新風 県政対話集会**

2013年1月24日(木) 16時30分～  
高森町福祉センター 2F大ホール

皆様 お気軽にお出掛けください

第7号 (2013年) 平成25年1月

発行・編集/改革・新風  
長野県庁県議会棟内 (026) 232-0087  
発行責任者 倉田 竜彦 印刷所 中外印刷KK  
http://www.kaikaku-shinpuu.com

今年も会派一同がんばります!



### 代表年頭ごあいさつ

長野県議会 改革・新風代表 倉田 竜彦

「改革・新風」県議団を代表して、年頭のご挨拶を申し上げます。

我が国の経済情勢は、欧州や中国など世界景気の減速等を背景として景気は急減速し、後退局面に入っていることが鮮明となっております。県内経済におきましても受注の

減少や中国向け需要の伸び悩み等により生産は弱めの動きとなっております。また雇用情勢については持ち直しの動きに足踏みが見られるなど、厳しい状況が続いています。

私たち「改革・新風」は、当面の県政課題に関して積極的に調査活動を行い、昨年にも会派独自の事業評価を行うなど他派に先駆けて改革に取り組んで参りました。

新たな中期総合5か年計画初年度となる平成二

十五年度は、我々県議会議員にとりましても任期の折り返しであります。依然として厳しい財政運営が求められている本県において、新たな総合5か年計画の着実な実施と震災からの復興、県民の安全・安心な暮らしに直結する施策を重視し、より身近で分かりやすい県政運営のために徹底した情報公開を推進し、県民が参画する県政の確立を目指します。

本年も県民の皆様方の一層のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

### 阿部知事に提言

10月22日、県政全般に関する基本的施策27項目と各局別191項目の合計218項目に及ぶ「平成25年度予算編成と当面の課題に関する提案書」を阿部知事に提出しました。主な要望及び知事のコメントは次の通りです。

◎厳しい財政状況の下での予算編成は、県民生活を重視した施策を柱に「経済対策予算」とすること  
「政局優先の国への対応には議員各位からも協力願いたい。予算の執行状況のわかりやすさには工夫している」

◎「新交通ビジョン」の策定について、県民の暮らしに直結した視点

◎森林づくり県民税の継続については、間伐材の活用と流通に力点を置き、県民や観光客にわかりやすく推進すること  
「使途がわかる形で運用したい」

◎中学校の30人規模学級について、市町村や教育現場と連携して3学年への導入を行うこと  
「中」・中二へと順次対応しており、三学年対応「予定」

◎県短期大学の4年制化は県内産業育成に必要な人材育成を担う高等教育機関となるよう配慮すること  
「中長期的視点で対応し、できる限り県民に理解を得られる形でスタートするために丁寧に対応する」

◎外国資本から水資源を守るため「水資源保全条例(仮称)」を制定すること  
「所有権との関連はあるが水資源を守る観点で対応したい」

◎「新たな事業点検」は第三者評価として機能するよう絶えず見直し、充実を図ること  
「試行結果を踏まえてどの点を残すか検討する」

◎県短期大学の4年制化は県内産業育成に必要な人材育成を担う高等教育機関となるよう配慮すること  
「中長期的視点で対応し、できる限り県民に理解を得られる形でスタートするために丁寧に対応する」

本提案書は冊子にまとめ、ご要望に応じてお届け致します。ご希望の方は会派事務局までご連絡下さい。

### 11月定例会 41億8400万円余 補正予算などを可決

■経済・雇用情勢への対応

- ◆県内産業の活性化 県内企業の販路開拓支援 1531万円
- ◆県民生活の安全・安心確保
- ◆補助公共事業費13億6650万9千円
- ◆障害者グループホームの整備 4550万円
- ◆高等学校の環境改善 6284万9千円
- ◆観光誘客の促進 アルクマキャバンの実施 17万3千円

◆雇用の創出

- 緊急雇用創出基金の活用
- ◆持続可能な資源循環型社会の形成
- マイバッグ持参の促進 852万8千円
- ◆その他
- 児童養護施設等の環境改善 556万5千円
- 指定管理者による施設管理
- ◆県民生活の安全・安心確保
- 補助公共事業費10億9152万9千円
- (11月補正予算案合計)

去る10月30日、千曲市戸倉創造館において「県政対話集会」を開催しました。千曲市・坂城町地域を中心におよそ260人が参加しました。

はじめに、千曲市・埴科郡区選出の荒井県議があいさつ。次いで倉田代表、千曲市龍澤副市長、坂城町山村町長があいさつしました。

その後、「改革・新風」の県議14名が自己紹介を行った後、参加者から発言をいただき対話形式で進められました。

発言は8人からあり、聴覚障害者からは「バリアフリー化の推進や「福祉のまちづくり条例」に

からも「助かりました」と好評でした。

この対話集会は年2回開催しており、今回は年明けの1月24日に下伊那郡高森町で開催の予定です(詳細は最上段右端)。

### 寺島副代表が辞職

「改革・新風」寺島義幸副代表が、この度衆議院議員総選挙に長野3区から出馬するため、県議会議員を辞職しました。11月27日の本会議で挨拶し、「21年余の議員生活で、高速交通網の進展、長

野冬季五輪の成功が思い出深く、中期総合計画策定や議会改革に参画できたことは、財産。今後住民一人一人の目線に心豊かな地域づくりのために渾身の努力をした」と語りました。

総選挙の結果、小選挙区で当選を果たしました。

### 県政対話集会

40万2千円

- ◆雇用の創出・確保
- 緊急雇用創出基金による取組14億7000万円
- 11月補正予算案合計41億8436万9千円
- うち経済対策関連事業4億3173万円

障害者の立場を十分入れて欲しい」などの要望がありました。県議からは、「県条例(の検討)では専門委員が集まっているので、しっかり伝えていく」と答えました。このほか、防災用備蓄、新幹線新駅問題、いじめ対策、広域焼却場問題、農業の担い手対策など、幅広く質問や要望が出されました。

今回の集会には、手話通訳や要約筆記の方をお願いしたところ、聴覚障害者をはじめ高齢者の方々からも「助かりました」と好評でした。





佐々木副議長の下、通算21回目の一般質問



### 謹賀新年

昨年末に国政では政権が交代しましたが、今年こそよい年になりますよう「県民の生活が第一」を基本に、政務調査活動に誠心誠意取り組んでまいります。ご意見・ご要望等お気軽にお寄せくださるようお願いいたします。

(公職選挙法により市内への年賀状は欠礼いたします)

# 小島康晴の 県政レポート

VOL 23

飯田市高羽町3-1-7

TEL・FAX (0265) 23-5388



11月県議会

## 大規模災害に確かな備えを

### 夢もあり、実現性もある総合計画の策定を

一般質問

県政報告第23号をお届けします。今議会では、岩手県や宮城県  
の被災地の視察を踏まえ、しっかりと大規模災害への備えを行う  
ことや、新たな総合計画や交通ビジョンについて、理事者の姿勢  
を質しました。

### 大規模災害への備え

#### ■備蓄について

【小島】意識啓発等の取  
り組みは？

【危機管理部長】3日間  
は住民自らの備蓄で賄う  
よう啓発を行っている。

#### ■通信網の整備

【小島】電源確保も含め、  
発災直後の通信網の確保  
は？

【危機管理部長】非常用  
発電機、地上系と衛星系  
の2方式の防災行政無線、  
衛星携帯電話と、3つの  
レベルで確保している。

#### ■防災訓練のあり方

【小島】大震災以降、本  
部の体制や防災訓練など  
の工夫は？

【危機管理部長】災害対  
策本部を防災関係機関が  
一堂に会すよう配置変更  
した。マンパワーの強化  
も行った。訓練も、より

#### ■人材等の育成について

#### ■成について

【小島】系統  
的な人材育成  
など、部職員  
の専門性の維  
持向上を。

#### ■危機管理部長 現職警察官の出向、現職自衛官の受け入れ、専門機関への研修派遣などにより、専門性の確保と向上に努めたい。



壊滅した市街地

は、「三陸道路」が避難や緊急物資輸送に大変役立ったとのこと。  
こうした観点から、今後どのような道路整備を進めるか？

#### ■建設部長 県では緊急輸送路を指定している。5か年計画において、引き続き重点的に推進する。

#### ■リーダーシップのあり方

【小島】大規模災害対応に限らず、常に職員や組織の力が十分発揮されるよう、日頃から部下職員に「任せるべきは任せる姿勢」が肝要である。

【阿部知事】それぞれの職員が主眼的に能力を発揮してもらえよう環境づくりをしたい。

#### ■道路網整備について

【小島】東日本大震災で

#### ■中期財政見直し

【小島】5か年計画と財政の中期見直しは、セットで示されるのか？

【総務部長】来年度の当初予算案の公表の際に財政試算をお示しする。

#### ■新たな交通ビジョン

【小島】リニア開通後、本県が7千万都市圏の真

#### ■新たな総合5か年計画について

## 文教企業委員会県外調査

### 神奈川県・東京都を視察

今年度は、進学重点の学力向上、連携型中高一貫校、キャリア教育に取り組む神奈川県立光陵高校、県立歴史博物館、神奈川県企業庁（電気事業）、エンカレッジスクールに取り組み東京都立蒲田高校、杉並区立和田中学校、進学指導重点校でスーパーサイエンスハイスクールに取り組み都立日比谷高校、都立永福学園を調査、視察しました。



和田中学にて

和田中学校では、民間から招かれた代田校長が、民



永福学園にて

長先生が飯田市出身との縁もあり、学力向上の取組や「よのなか科」、部活イノベーションなど、様々な学校改革の取組について伺いました。視察の成果を是非具体化して

#### ■信州独自の自治

【小島】「信州独自の自治」は、市町村と十分な連携、協議の上、進めるべき。

【阿部知事】県が勝手に仕組を作るということは許されず、市町村として進めたい。

#### ■「信州人」とは

【小島】「政策推進の基本方針」にある「信州人」とは？知事自身は「信州人」か？

【阿部知事】基本的に長野県民のこと。私も当然「信州人」の一人。

【小島】長野県出身で一生懸命信州のことを思っている人は「信州人」だと考える。議会が総合計画を議決する。それまでの過程で、言葉一つにもこだわり、よりよい計画にしたい。

## 大規模災害への 議会の対応

議会改革調査会では、昨年の北部地震への対応の反省から、大規模災害等への議会としての対応について、検討を重ねてきました。そして、岩手県議会の取組などを参考に、県に「災害対策本部」が設置された場合には、連動して県議会にも「災害対策連絡本部」を設置することとし、平野議長に申し入れました。災害発生当初の混乱しているときに、個々の県議員が個別に対応することを避け、議会として情報を共有し、被災された県民の要望等をとりまとめることなどを目的としています。



みなさまのご提言やご要望をお寄せ下さい。

### 長野県議会 改革・新風

〒380-8570 長野市南長野字幅下692-2  
電話(026)232-0087 FAX(026)231-5592  
HP://www.kaikaku-shinpuu.com  
E-mail:info@kaikaku-shinpuu.com

## 駅無人化への 対応協議

上下伊那の県議で企画部長を招き、飯田線の駅無人化方針への対応などを協議しました。市町村と力を合わせ、県が窓口になって責任を持って対応するよう要請しました。



団体営事業補助充実を!

## 土地改良事業 の推進を

議員有志でつくる「土地改良研究会」では、農業農村整備事業の予算確保、農業用水を活用した小水力発電の推進など阿部知事に申し入れました。知事からは、農業農村を守るのは県政の基本であり、予算編成の中で検討したいとの見解が示されました。